

IV 事業概要

1 学芸事業

【1 展示関係】

② 昆虫標本展 ～身近なくらしを紹介する高橋雄一標本～

期 間 平成 26 年 11 月 1 日(土)～平成 26 年 11 月 21 日(金)

会 場 仙台市科学館 3 階 エントランスホール

ねらい 高橋雄一氏の昆虫標本は、詳しい解説とともにまとめられており、市民の方々に昆虫に対する興味・関心を高めていただけるものと思われる。自然環境の保護の観点からも、昆虫標本の展示は大変有意義である。

内 容 身近に棲息するチョウやガ、トンボ、甲虫、カメムシ目、バッタ目の標本を、その生態の解説とともに展示した。また、美しい世界の蝶を周囲に配置した展示ケースで展示した。宮城の昆虫から日本の昆虫へ、さらに日本のチョウのルーツについて解説付の標本を展示することで、昆虫たちの暮らしぶりを紹介する 186 箱の標本を展示した。

標本配置図

モルフォチョウ 6箱

日本の蝶 40←17 24箱
パネル6枚
蝶のルーツ16→23 8箱 日本蝶1→16 16箱

蝶のルーツ15←1 15箱 ハナカ 4箱 トンボ20←16 5箱
パネル6枚
宮城の甲虫8→16 9箱 トンボ1→15 15箱

宮城の甲虫7←1 7箱 水生昆虫 4箱 宮城の蝶30←18 13箱
パネル6枚
宮城のガ6箱 宮城の蝶1→17 17箱

No. 25の穴で清瀬朝でパネル固定

風徐室

会場入口

展示パネル

チョウやガについて
チョウやガは翅に鱗粉をもつ鱗翅目という同じ仲間ですが、次のように分けています。

鱗翅目	
チョウ	ガ
アブハチチョウの仲間 セゼンチョウの仲間	ガ以外の鱗翅目

外見上は、次のように区別されることが多いですが、例外も多く、簡単には区別がつかえません。

チョウ	ガ
翅の模様 マツキの様に先端が黒い 黒い	翅に行くほど細い 青や橙赤もある
産卵時期 夏	夏
色彩 色鮮やか	目立たない
体質 細い	太い
活動 静か	早い
止まり方 翅を立てる	扇形に開かせる

宮城県内にはチョウの仲間が約120種、ガの仲間が約2500種生息しています。

日本のチョウのルーツを探る
日本には約250種のチョウが生息しています。日本のチョウはどこからやってきたのでしょうか。日本に生息しているチョウが世界的にどのように分布しているかを5つの地域に分けました。日本型、シベリア型、アムール型、ヒマラヤ型、マレー型です。